

## 佳作

両親に大切にされて育ててもらった私

荒川区立第三峡田小学校 三年

遠藤 美咲

私はいのちは見えると思います。私は、いのちとは、自分じしんのものだと思っていました。なぜなら、一人、一人がお母さん、お父さんからうけつがれているものだからです。

だから、いのちは見えると思ったのです。

私は自分にできる事があるか考えました。

私がもし、エミちゃんだったら通ほうはできないけど、お母さんに電話をして、通ほうしてもらう事ならできると思います。ふだんの生活の中では、自分の事は自分でやって、のぞみちゃんのおせわで、ルミさんがむりな所を手つだいます。

私は、この絵本からいのちの大切さを学び、いのちがみえるかみえないかについて、じっくり考える事ができました。

私は、両親にすごく大切にされて育ててもらっ

柳田先生、こんにちは。先生は、「いのちは見える」と思いますか。サマースクールの学習で、担任の原田先生が「いのちはみえるよ」という絵本の読み聞かせをしてくださいました。この本は、目が見えないルミさんが、盲学校の先生になり、赤ちゃんをうんだあと、エリちゃんの学校に行くお話です。

私は、この本の中で一番ルミさんが苦しんでいる中でエミちゃんが一一九番につうほうしたり、いっしょにびょういんにいったりしたから、すぐくゆうきがあるところに感動しました。

た事にあらためて気づく事ができました。両親は、おむつをかえたりミルクを飲ませてくれたりだっこしてあやしてくれたと思います。私のいのちは両親からうけつがれたものなので、自分のいのちとかぞくのいのち、私のまわりの友だちのいのちも、大切にしたい、ありがとうというかんしゃの気持ちをつたえていきたいです。